

学校だより

翔 空

No. 22 平成23年10月18日(火)
郡山市立喜久田中学校長 大堀 昌弘

「翔空」の由来 〈校舎のシンボル〉

壁画「空へ」を受け、風光明媚なこの学舎から、希望に燃え限らない空へ、力強く翔んでほしいという願いを込めて、翔空の碑ができた。

【バザーへの協力依頼】

今日から、バザー用品の受け付けが始まりました。期間は、18日〔火〕～20日〔木〕の3日間です。朝7時45分から受け付けています。できましたらお一人2品、ご協力願えると助かります。家中を探してみると、どこの家でも何かしら必要な物がころがっているのです。つい衝動買いしてしまっただが放置してある物や贈り物などでそのまま箱に入っただまま眠っている物など何でも結構です。(記念品等で名前入りはご遠慮ください。)

【世界の名言(英語版)①】
前回までは、英語の諺を紹介してまいりましたが、今回からシリーズ(10回)で、世界あちこちからかき集めた「世界の名言」を紹介して行きたいと思えます。
まずは、こんな名言から。このせりふ、知る人ぞ知る、あの『風と共に去りぬ』(Gone with the Wind)の中でも使われていましたが、作者不詳です。

Today is the first day of the rest of your life. (今日という日は、残りの人生の第一歩である。)

その意味するところは、次のようなものです。「人間は、毎日生まれ変わる。きのうまでの人生がいかにつらい苦しみに満ちていたとしても、今日はまた新たに始まるのだ。あなたは、いつまでも過去にとらわれている必要は全くないのである。」

なるほど!これはけだし名言ですね。楽観論的で、つらければ、新しい日々、人生をもう一度ゼロから始めればよいのですね。

「思考する脳(考える頭)づくり」

～いかにして数学に興味を持たせるか～

今回は、むずかしくも楽しい小学校の算数の問題からお話をします。次の問題をまずは自分の力で解いてみてください。(小学校6年生の算数の問題なのですが、・・・)

～時計算～

「時計の短針と長針が3時と4時の間で重なる時刻を求めなさい。」

答えは、「3時16と4/11分」だそうですが、大人でも(いや、大人なら尚更のこと)なかなか答えが出せる方は多くないと思います。実生活でも、このような場面に遭遇することも多いはずですが、それらの課題が小学校の算数の考えで解けるとおもしろいですね!

◆◆◆解答例◆◆◆

3時のときの両針の角度の差は90°です。

長針は1分間に

$$6 - 0.5 = 5.5$$

(なぜなら、時計の文字盤の1周は360°ですから

それを60分で分割すると、時計の長針は1分間に

6°ずつ進み、短針は6°の1/12ですから、

0.5°進むことになります。)

つまり、5.5°ずつ短針に追いつきますので、

追いつくまでにかかる時間は、

$$90 \div (6 - 0.5) = 90 / 5.5$$

$$= 16 \frac{4}{11} \text{ (分)}$$

となります。

よって、長針が短針に重なる時刻は、

$$3 \text{ 時} + 16 \frac{4}{11} \text{ 分} = 3 \text{ 時} 16 \frac{4}{11} \text{ (分)}$$

実は、こういう私も算数や数学は大嫌いだったのですが、なぜか、今になって、算数や数学にも興味が出ています。たぶん、私の場合は昔やり残した分を今こそ取り返そうという気分的なものだとは思いますが、数学的思考ができる方を見るにつけ、うらやましく思います。よく一番下の娘(当時、高校3年生)には、定期テストがあるたびに、「私はお父さんに似て、数学でいつも苦労するんだから」と言われ続けました。別に、両親の遺伝で数学が不得意になっている訳でもないと思うのですが、今思うと、娘は娘なりに自分の不甲斐なさを親にぶつけていたのでしょう。

「教育は暗示で」という人が沢山います。「君は、本当に英語が得意だね。いつも90点以上取っているし・・・。」今思うと、私も高校の恩師に感謝すべきなのかも知れません。さか一生の職業となるとは当時は思ってもいませんでした。人生何が起るか全くわかりません。



(秋は大食い)

〈カウントダウン：翔空祭まであと4日〉